

近畿地方建設局
道 路 部

配布日時 平成11年10月22日14時

配 布 資 料

件

名

橋梁・高架橋等のコンクリート詳細点検について

取

扱

配 布 場 所

近畿建設記者クラブ
大手前記者クラブ

問 い 合 わ せ

近畿地方建設局 道路部 道路管理課

課 長 田 中 政 憲

TEL: (代表) 06-6942-1141 [内線4411]

(直通) 06-6941-2500

橋梁・高架橋等のコンクリート詳細点検について

一般国道165号大和高田バイパスの高架橋におけるコンクリートが剥落（平成11年10月6日）したことをうけ、10月20日防災ドクターと現地調査を行い、より一層の安全確保のために下記のとおり、近畿地方建設局管内の直轄国道の橋梁、高架橋等の詳細点検を実施することとしました。

1. 現地調査結果

近畿地建防災ドクターと事故原因の現地調査を行った結果、以下の結論を得た。

調 査 日：平成11年10月20日（水）

防災ドクター：松井 繁之 大阪大学 大学院工学研究科教授

近 畿 地 建：入江道路情報管理官他6名

事 故 原 因：・組立鉄筋（注1）の位置が凹型の水切り部に直近した部分について組立鉄筋のかぶり不足があった。
・水切り部からの水の浸透により組立鉄筋が腐食し、鉄筋の膨張によりクラックが発生し、剥離落下したと考えられる。

補 修 方 法 等：・水切りを凹型から凸型に変更する必要がある。
・補修は、組立鉄筋の除去、主鉄筋の錆を落とし、錆防止を行い水分の入らない材料で被う等。

点 検 の 方 法：・水切り部付近を中心に目視とハンマーの打撃による点検を基本。

（注1）組立鉄筋：構造上は必要ないが、所定の位置に鉄筋を配置するために必要な鉄筋、鉄筋の組立及び配筋の際、鉄筋の位置を正確に確保するために用いられる補助鉄筋の一種。

2. 詳細点検について

現地調査結果を受け、以下の詳細点検を近畿地建管内の直轄国道の橋梁・高架橋で実施することとした。

①点検の着目点

橋梁・高架橋等の下に道路、側道、鉄道、公園、駐車場等が存在する箇所の「橋梁・高架橋上部工の床版端部の水切り部分」を点検する。

②点検方法

「橋梁・高架橋上部工の床版端部の水切り部分」をリフト車又は足場等を用い、詳細に目視して、ハンマーで打撃し、異常音・クラックの有無を確認する。

③応急措置

点検時に異常音・クラックの認められた部分は、除去し、路上等への落下防止をはかる。

なお、奈良国道工事事務所は、コンクリート剥落のあった、大和高田バイパス高田高架橋について、翌日の10月7日から詳細点検を実施し10月15日にほぼ完了した。その結果は以下のとおりです。

点検延べ延長 : 3580m

除去延長 : 10.9m (13箇所) 異常音・クラック箇所全数除去済
(JR・近鉄交差部180mの点検は、10月20日、22日目視点検実施、
11月初旬にハンマー打撃による点検を実施予定、当区間の日常点検を強化している。)

構造詳細図

